

番	号	發	行	著	作	工	画	外	題
				東西庵	南水	作		勝川春	朝
								天	刻
								より	以前
								の人	

是六猶崎文庫

~13
 Kusa: (30000
 Yosoba
 6 vols



門へ13
號3868
卷

櫛久松山
錠屋五郎作
鐵名屋徳藏

夜高麦賣名代の如く薬

虫歯頭痛膏薬
若按 至
一色 十六銅

東西卷南北作
勝川春扇画

梳久松山
破屋五郎作
夜高麦賣
名代の切菊

梳久松山夜
破屋五郎作
名代の切菊
鉄名屋徳藏

東西卷南北作
勝川春扇画

六世

芝神明前
若松屋

芝袖
木匠

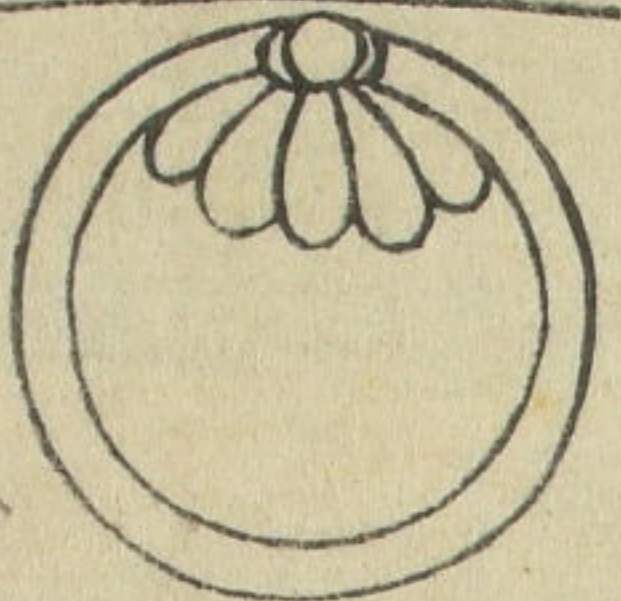


欽定 石屋五良作
 各屋徳藏

夜蕎麦賣合代の呪菊

梳久松山

夜



名代の賣蕎麦

全六册

東西庵南北作勝川春扇画

夜蕎麦賣合代の呪菊
 正本と少し
 六册はののの

南北戯述

文化九申春發販 若林堂

浪花の渡海衆

来名屋

徳藏

浪花源藏

女九重



鎌倉の

碓銀治

碓屋

五郎作





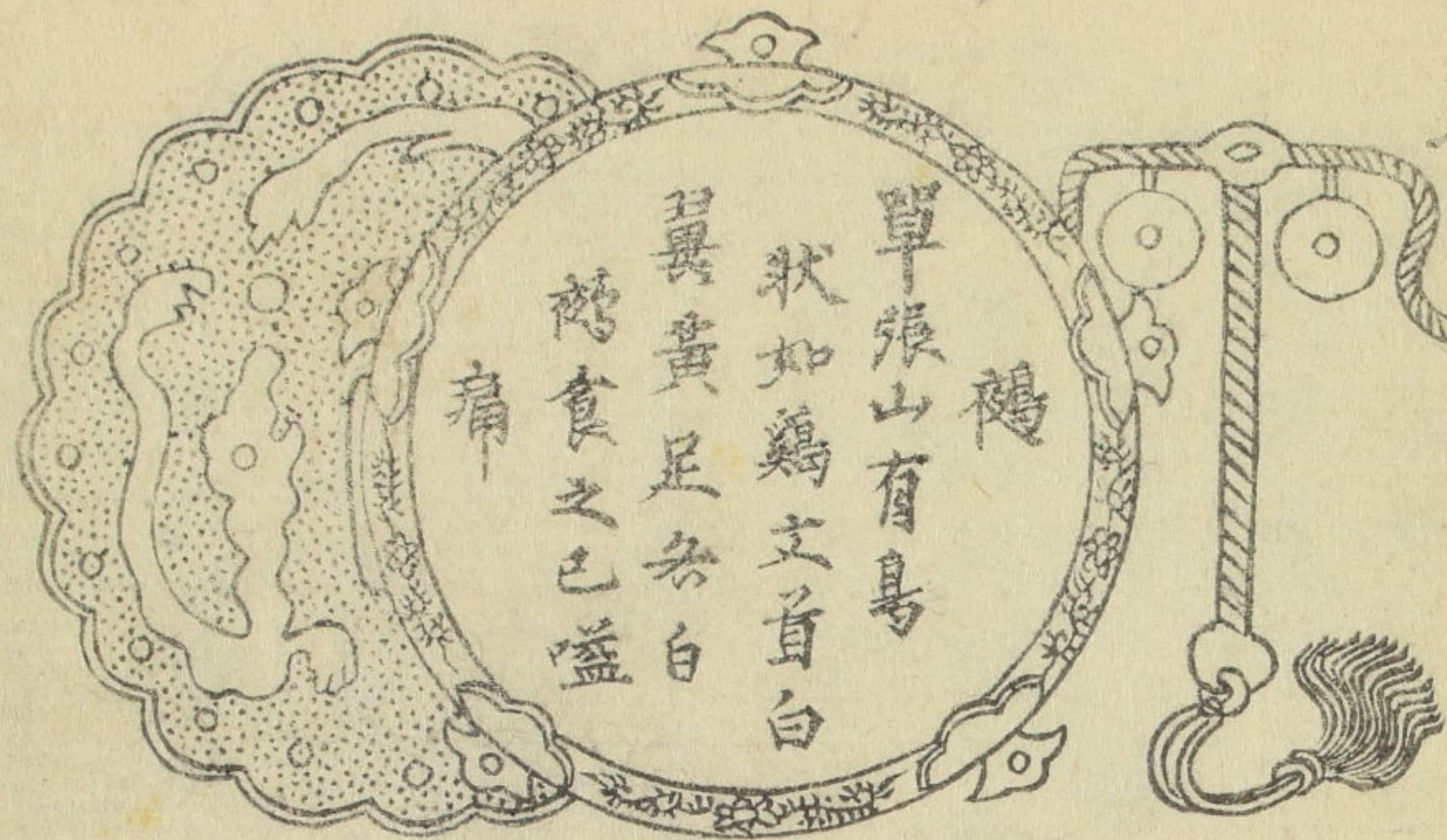
星井判官政常
后梳久

あらん
外志とく
人か

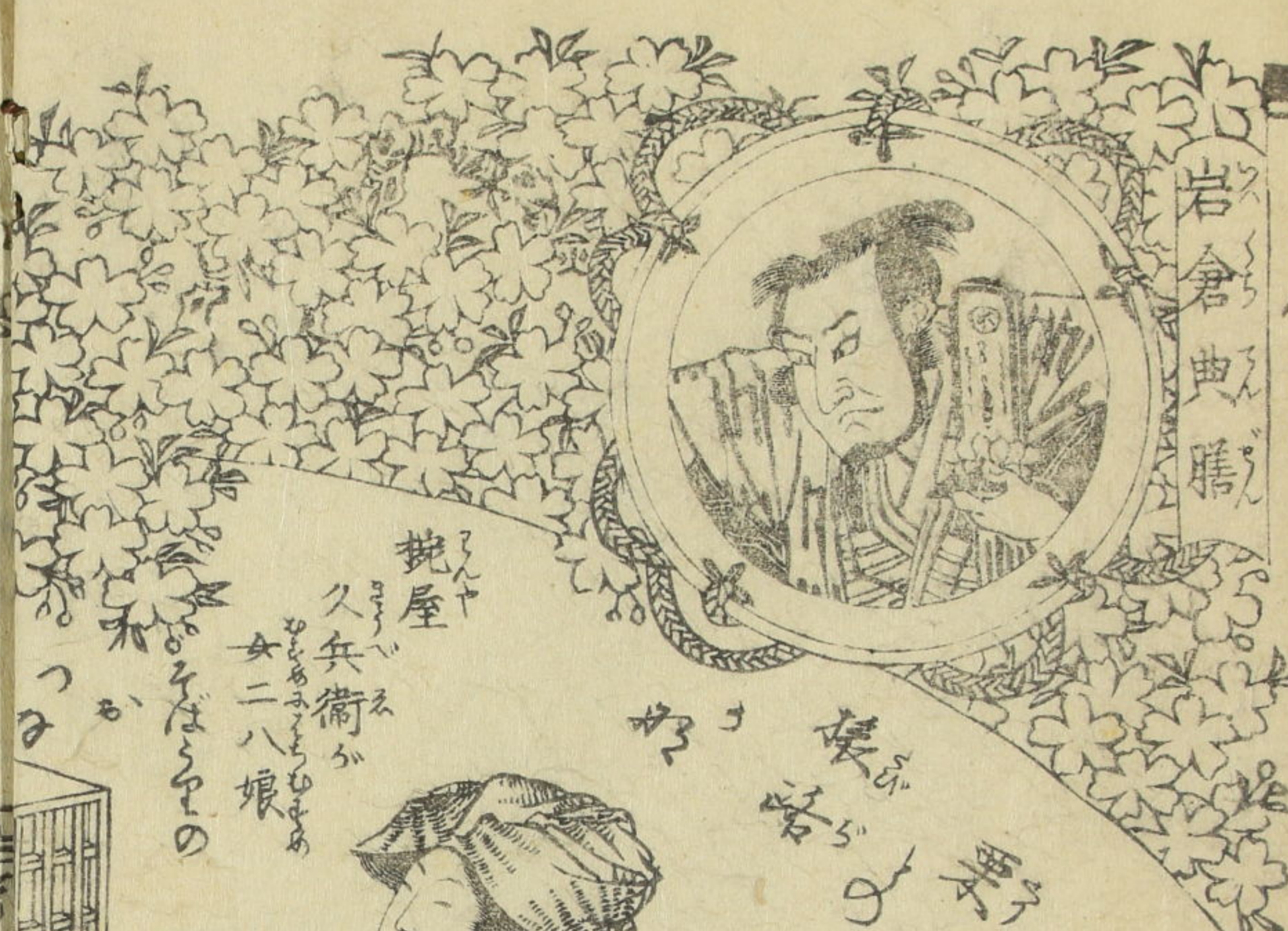


大磯の遊君
松山太夫

か
之里の
うり
か
か
か



岩倉典膳



母
 女
 光



姑獲鳥本草引

本草綱目禽部二姑獲鳥能久人ノ魂魄ヲ取ムモヲ夜ハ
 鳥トアリモヲ脱ヌテバ女人トナルコレ産婦死シテ後化シテ此
 モトナル故ニ胸前ニ兩乳アリ喜コシデ人ノ子ヲ取テ養ラバ
 ガ子トス凡ソ小兒アル家夜ル衣物ヲ露スベカラス此鳥
 夜飛テ血ヲ以テコレヲ點ジテ誌シトス兒コレヲキレバ輒
 驚癇疳疾ヲ病ヤムコレヲ無辜疳ト謂ナリ荊州ニヨ
 クコレアリ○釋名多シ。乳母鳥。夜行遊女。和ニ
 所謂産婦女ナリ



つんぎ

達チち
 夜ヨの
 春ハルの
 いざ
 春ハルの
 子コの
 合アヒの

いのま
 ぬれハ

鐵名屋

哥察文の

妻メ藏クラ

12

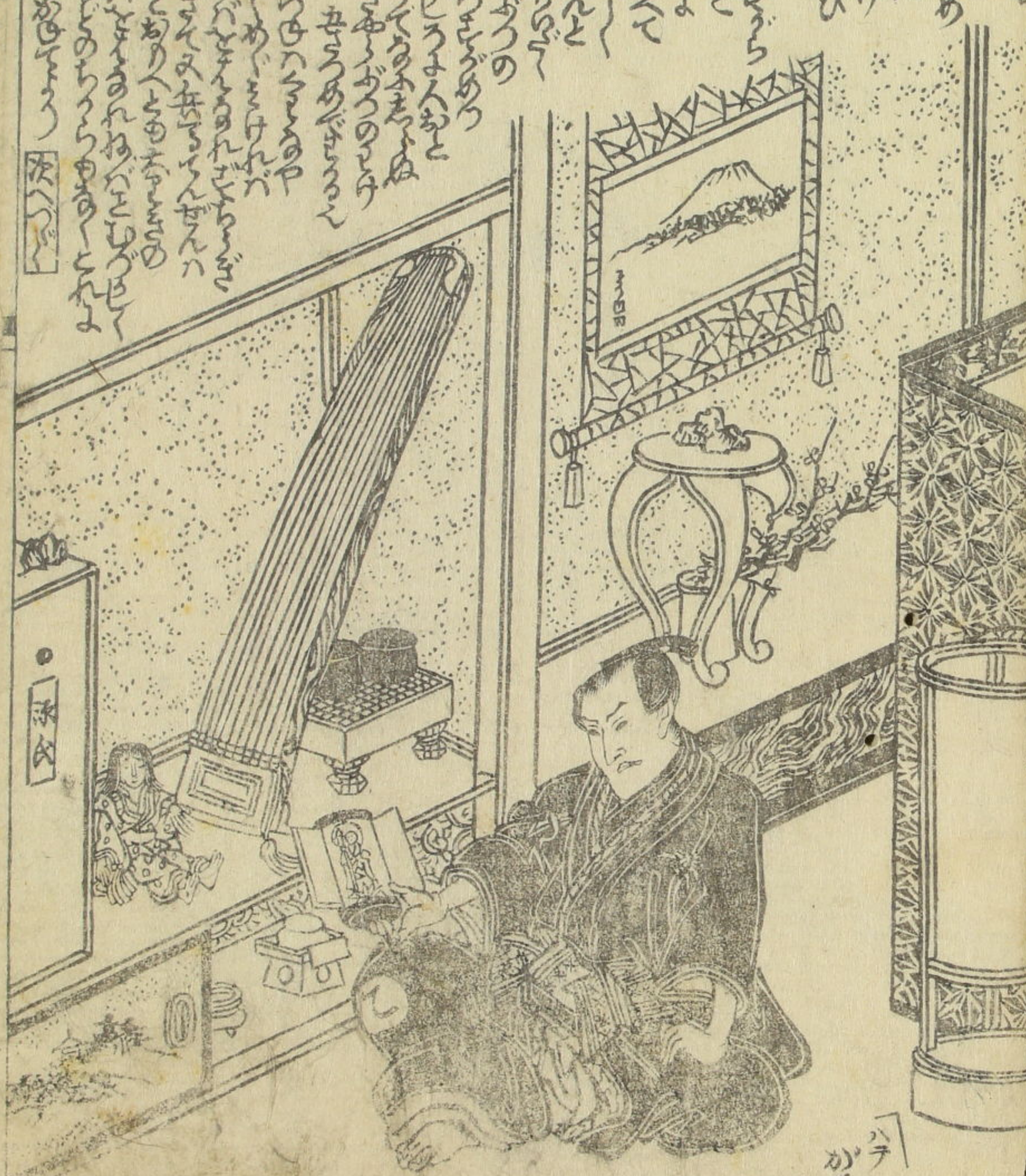


姑獲鳥
一名乳母鳥

草雙紙物語のうた

仁治の頃うまの執権ハ北条より討つにけと兎龜が昔ハ星の井列友政と
いふ事ありけ政つ子が又政國ハあつて一乱おひひのらんさうありし由
どのおん海をも化よこせとてお政つ孫が代となりて幼主より短の
武門の面目せむじたりされば是は是はよかまふとひもほつる邪
かまふもやんかまふもそのまふといふもいけは極大のそのまふ
くつてのつともものせんもつておまもらんそれが中おも大りそ
このせんせんせんじがせんせん政をいと松山とよまゆり
袖もつらま持せりおまだちのめんちやぢのめん茶やがむひの
かまふもやんかまふもこのごんを松山とよまゆり
兵馬の風流はこれ松山とよまゆりの世ももうたる
さうさういのおてあまのせむじのひのひのひ

Handwritten text in a vertical column at the top of the page, likely a preface or introduction to the scene depicted below.



Small vertical text label on the left side of the illustration, possibly identifying the scene or a character.

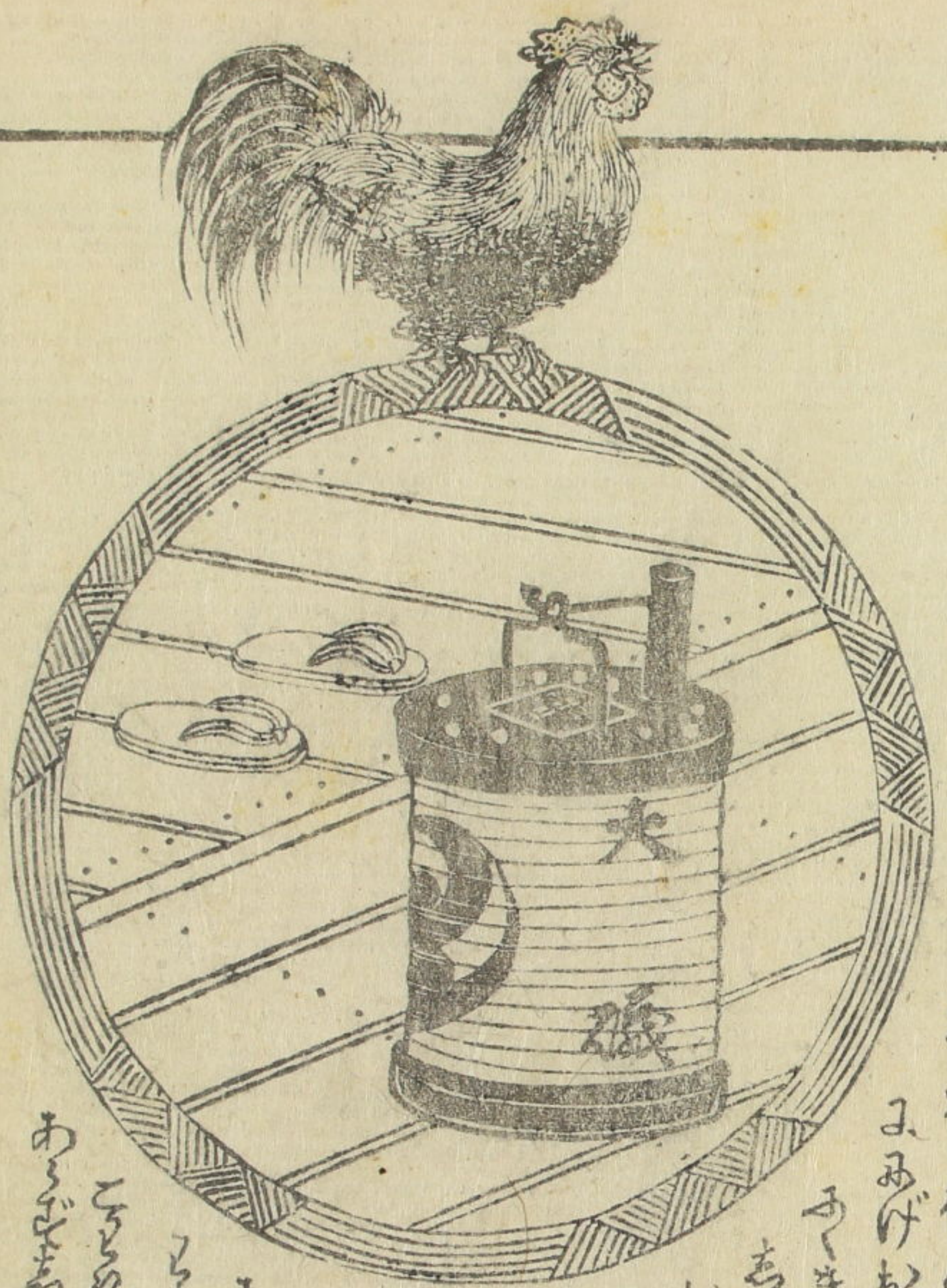
Handwritten text in a vertical column at the top of the right page, continuing the text from the left page.



Small handwritten text label at the bottom of the left page, possibly identifying the man in the illustration.

Small handwritten text label at the bottom of the right page, possibly identifying the woman in the illustration.

Handwritten text in the top right corner of the left page.



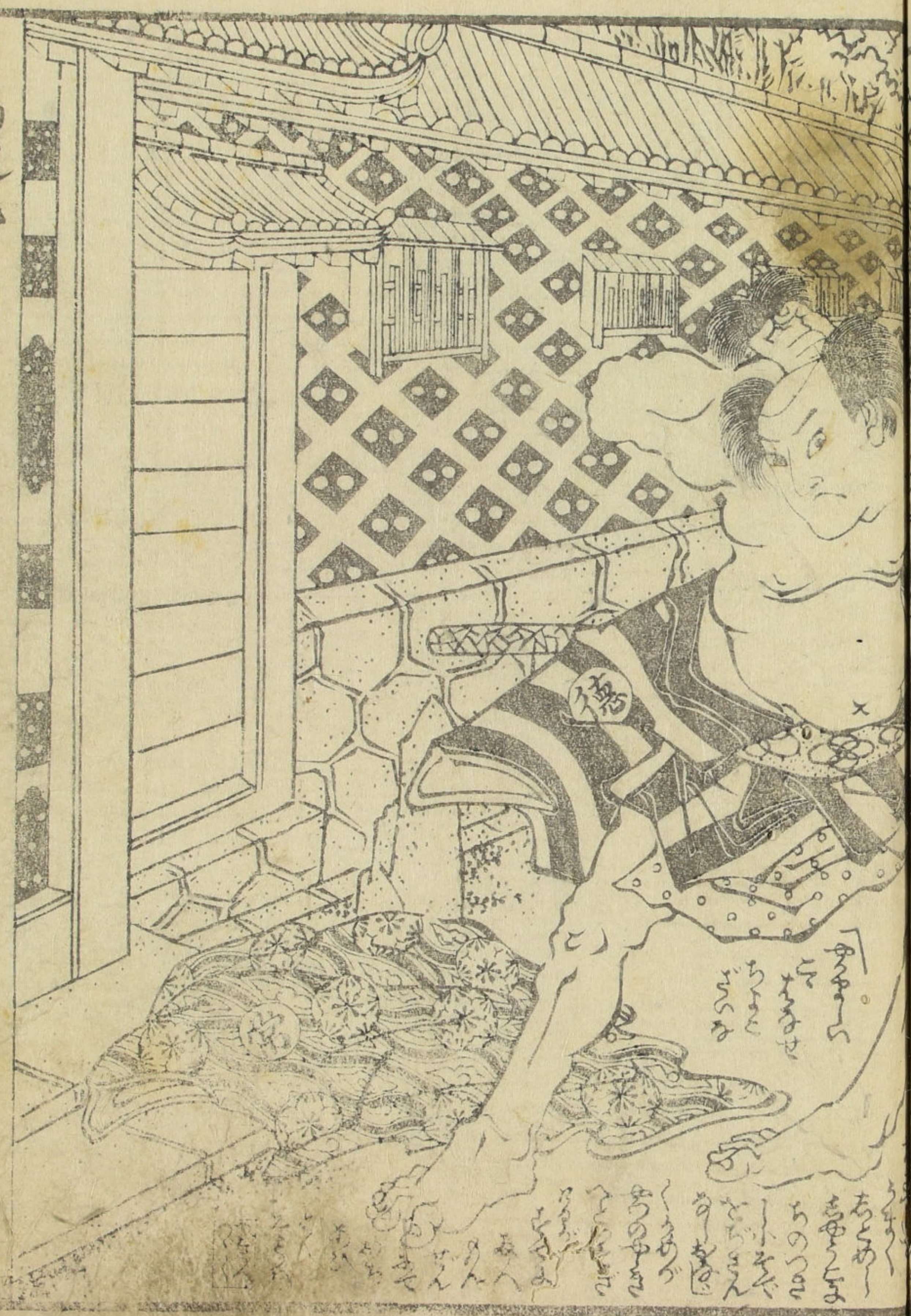
Vertical handwritten text on the left page, positioned below the illustration.

Vertical handwritten text on the right side of the left page, adjacent to the illustration.

Vertical handwritten text at the top of the right page, above the illustration.



Handwritten text in the top right corner of the right page.



あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち



前
の
き

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

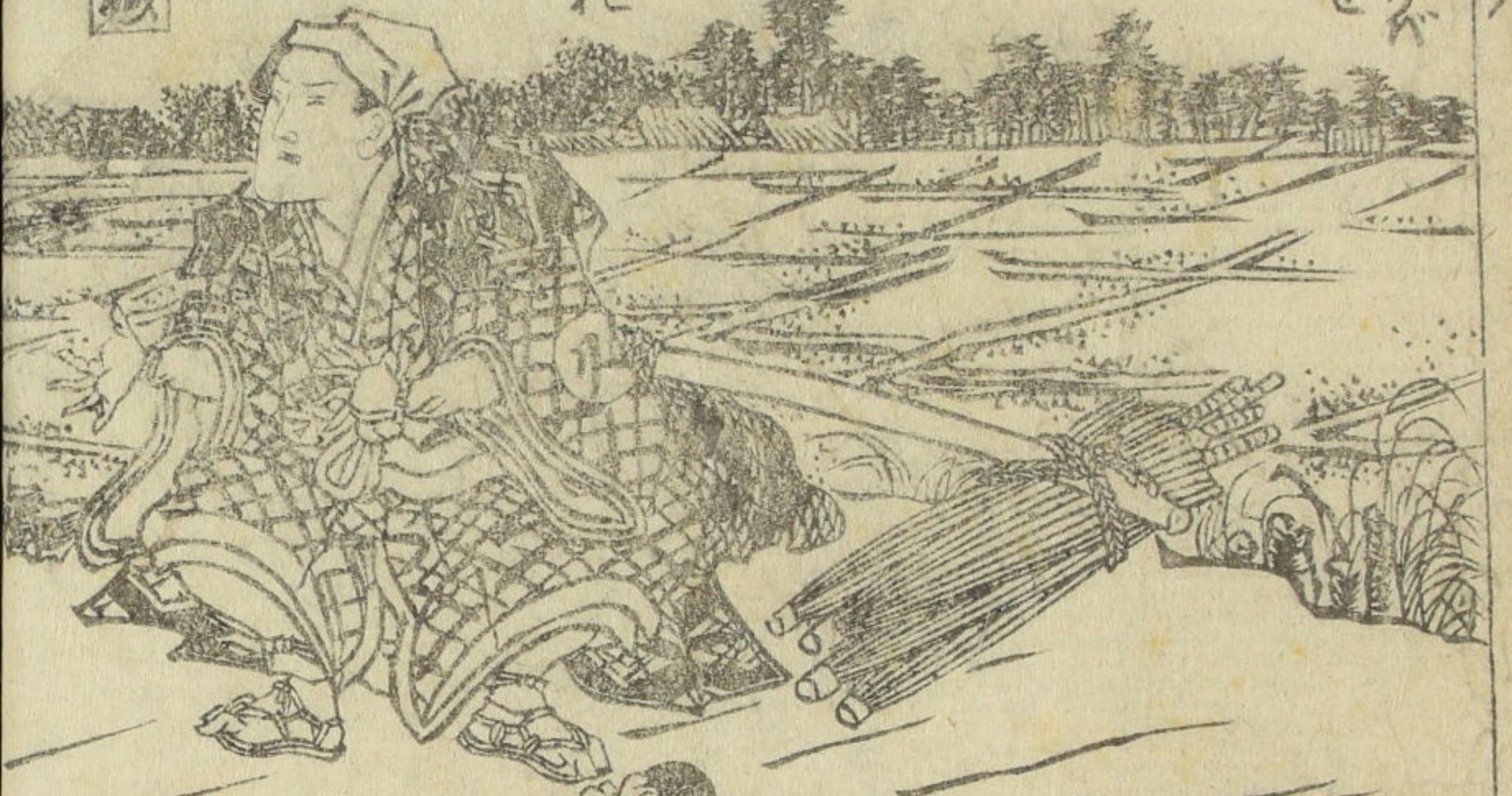
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

江戸

ひまのちやいふ
あんなのや子を
もてらしては
多しはるこさん
らんをあらつさ
ううく人の
うさすまらて
まんやを
うりさ
やうのあさ
とらゆ
あて三座
ちやいふ
ひまのちやいふ
あんなのや
うりさ
のその
うさすまら

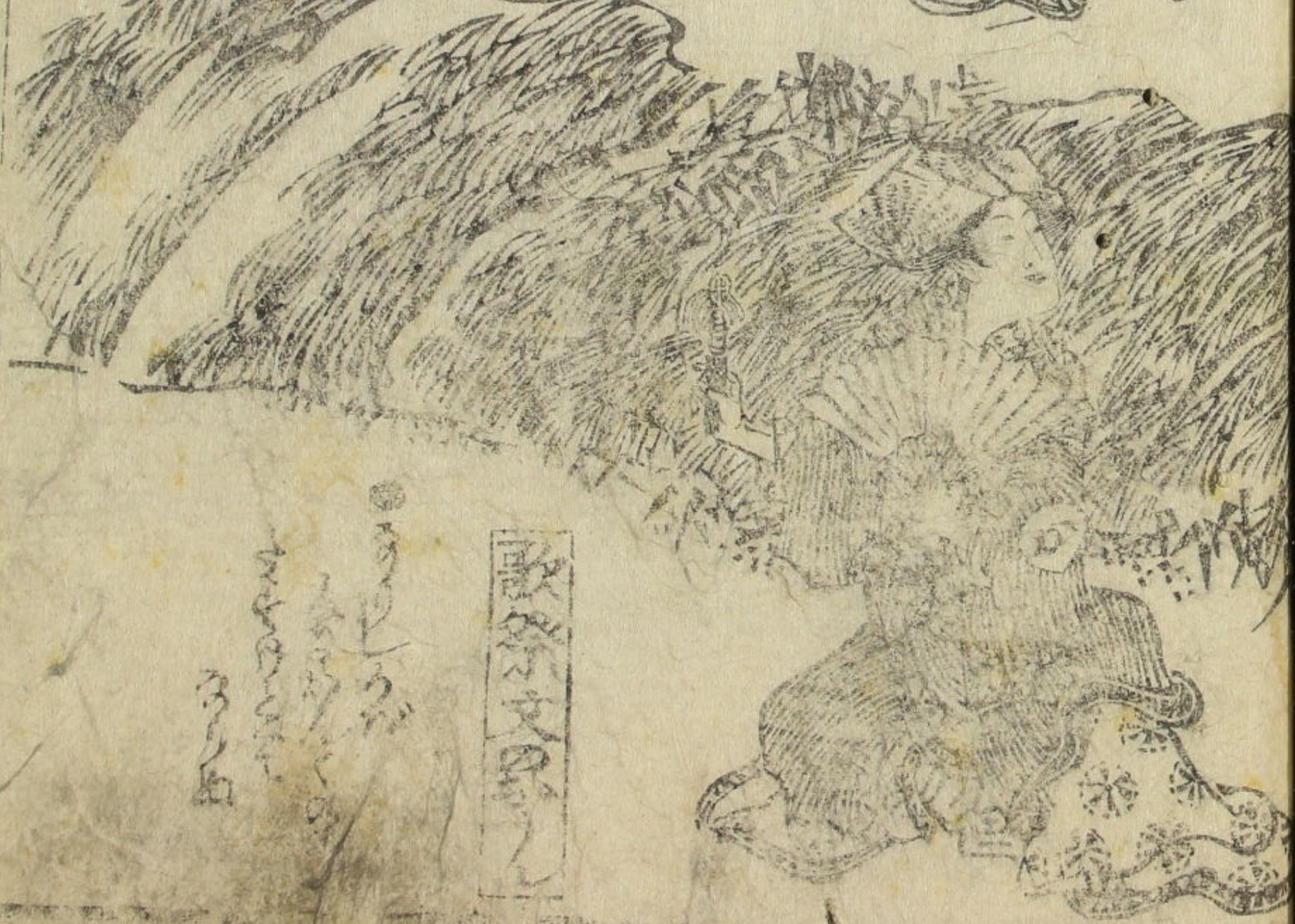
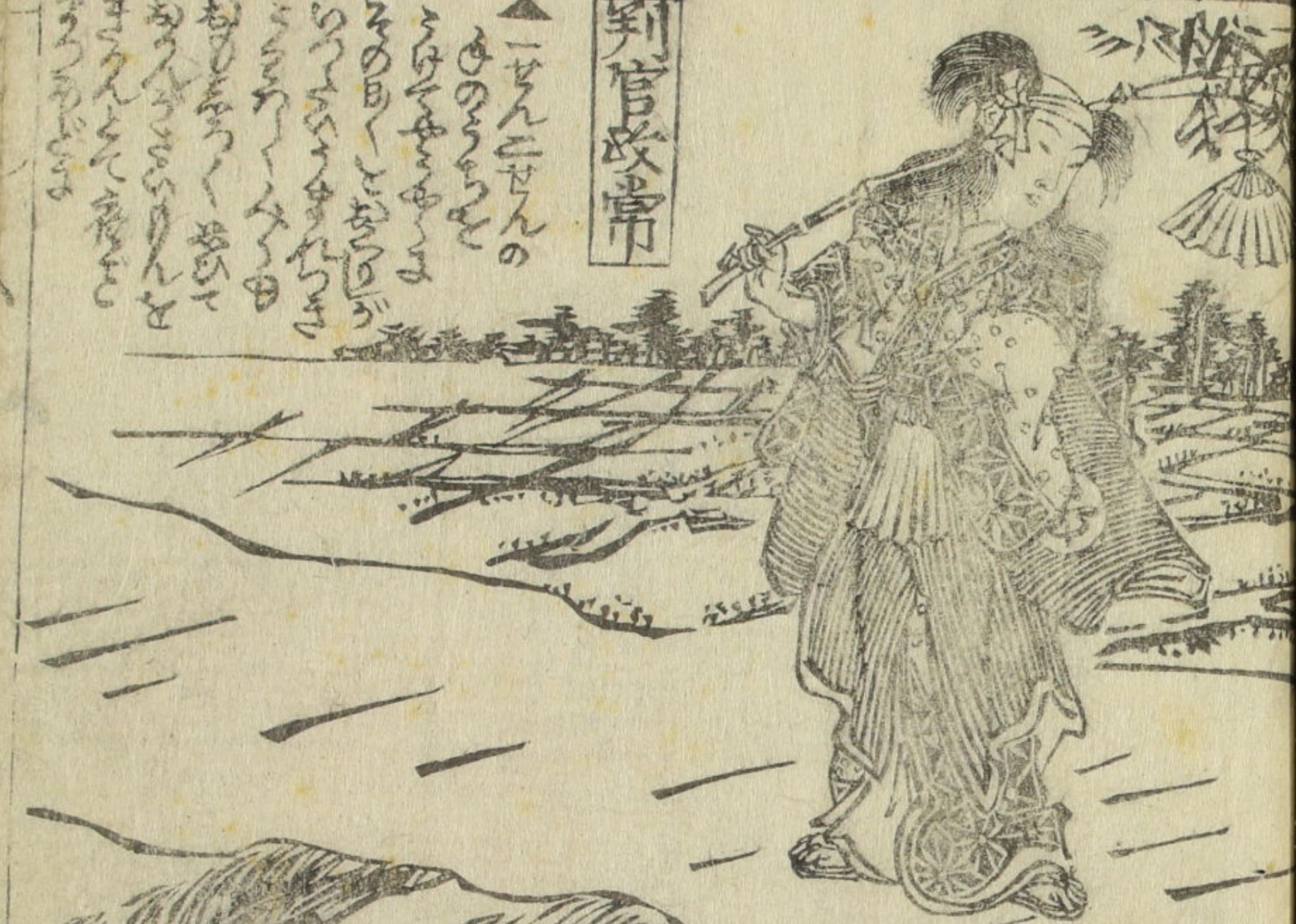
吉徳買入



二八をばの
おつる

判官政常

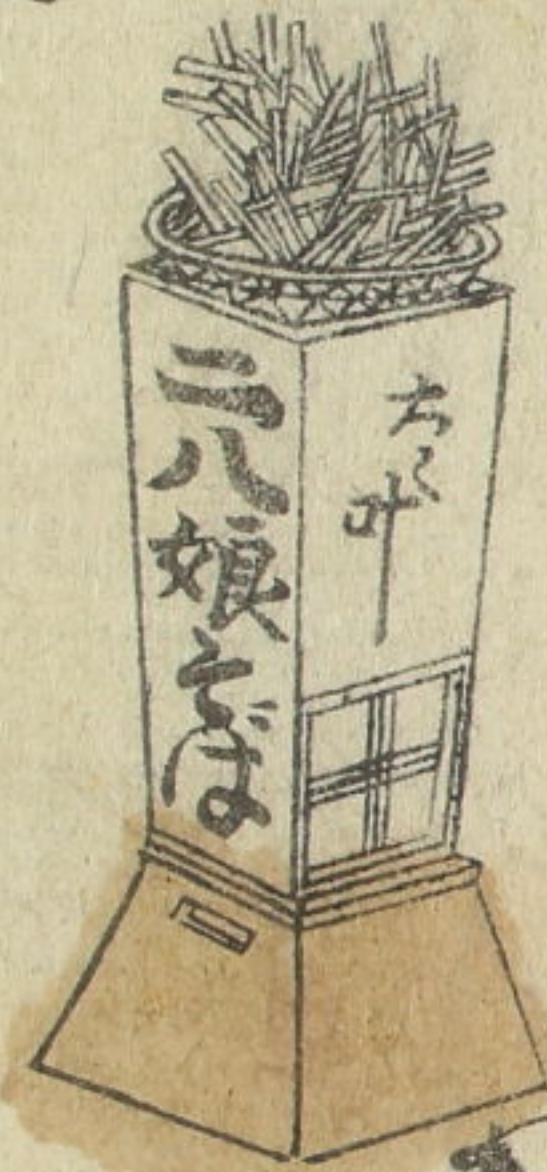
▲一せん二せん
ののうら
うはくま
その目く
りつ
ま
おひ
あ
ま
ま



歌

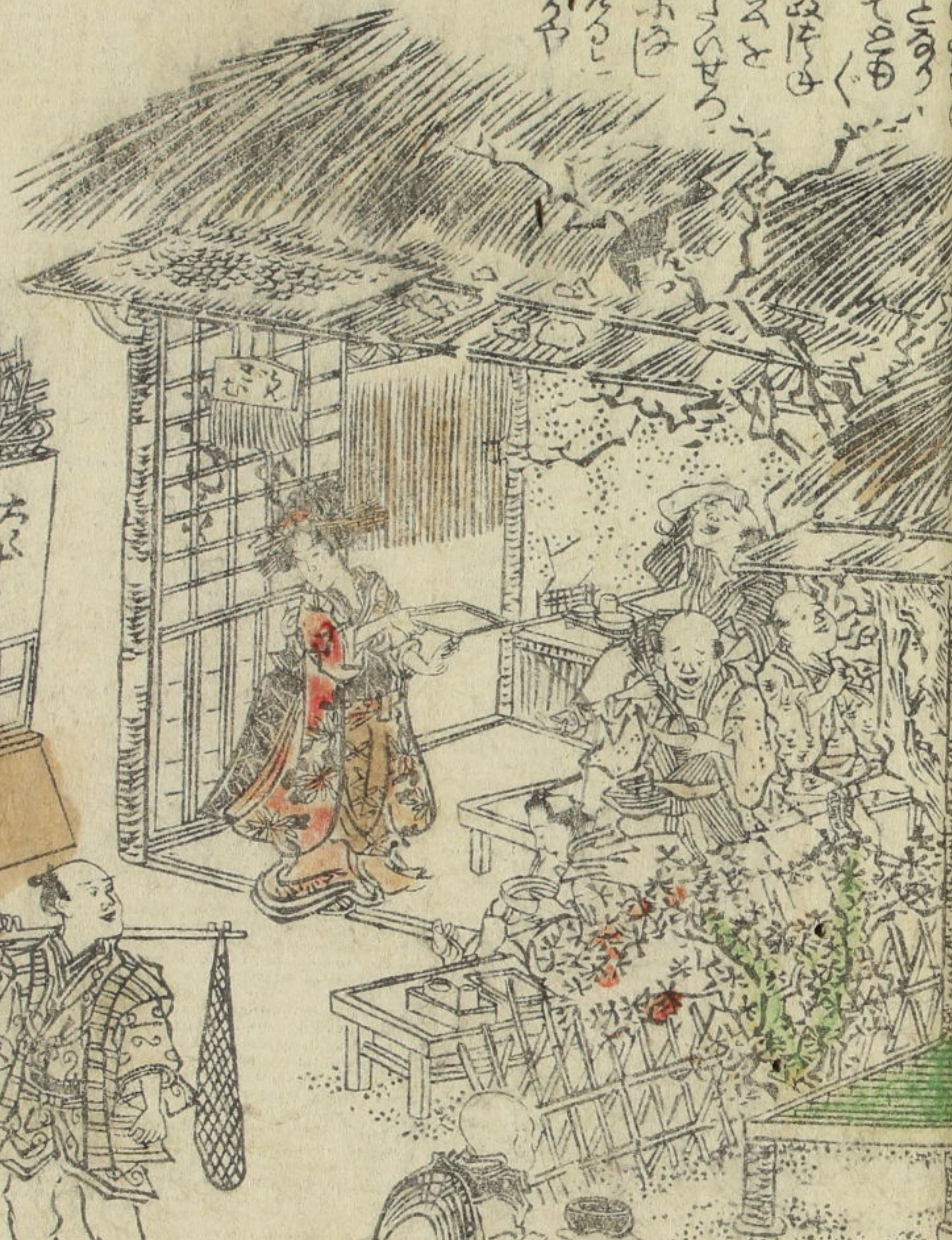
うら
ま
ま
ま

二ノ娘がな
 三ノ娘がな
 四ノ娘がな
 五ノ娘がな
 六ノ娘がな
 七ノ娘がな
 八ノ娘がな
 九ノ娘がな
 十ノ娘がな



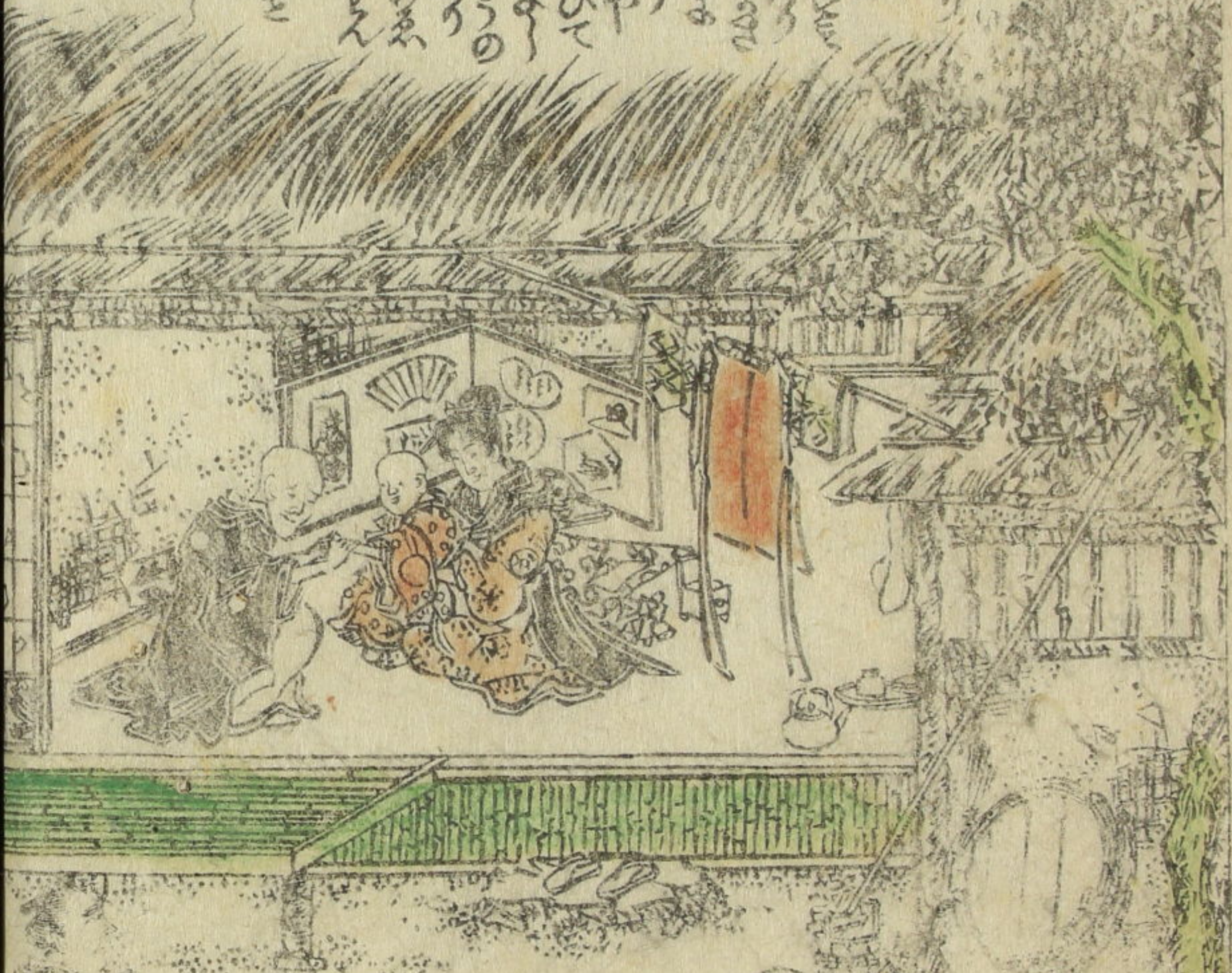
三ノ娘がな
 四ノ娘がな
 五ノ娘がな
 六ノ娘がな
 七ノ娘がな
 八ノ娘がな
 九ノ娘がな
 十ノ娘がな

一ノ娘がな
 二ノ娘がな
 三ノ娘がな
 四ノ娘がな
 五ノ娘がな
 六ノ娘がな
 七ノ娘がな
 八ノ娘がな
 九ノ娘がな
 十ノ娘がな



一ノ娘がな
 二ノ娘がな
 三ノ娘がな
 四ノ娘がな
 五ノ娘がな
 六ノ娘がな
 七ノ娘がな
 八ノ娘がな
 九ノ娘がな
 十ノ娘がな

一ノ娘がな
 二ノ娘がな
 三ノ娘がな
 四ノ娘がな
 五ノ娘がな
 六ノ娘がな
 七ノ娘がな
 八ノ娘がな
 九ノ娘がな
 十ノ娘がな



一ノ娘がな
 二ノ娘がな
 三ノ娘がな
 四ノ娘がな
 五ノ娘がな
 六ノ娘がな
 七ノ娘がな
 八ノ娘がな
 九ノ娘がな
 十ノ娘がな

あつめぐるるるがを世の人りにちりし
三十八のあつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし



あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし



あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし

あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし



あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし



あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし
あつめぐるるるがを世の人りにちりし

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is dense and covers the upper portion of the right page.



Handwritten Japanese text located below the illustration, providing a caption or further commentary on the scene depicted.

Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the right page. It occupies the upper and middle sections of the left page.



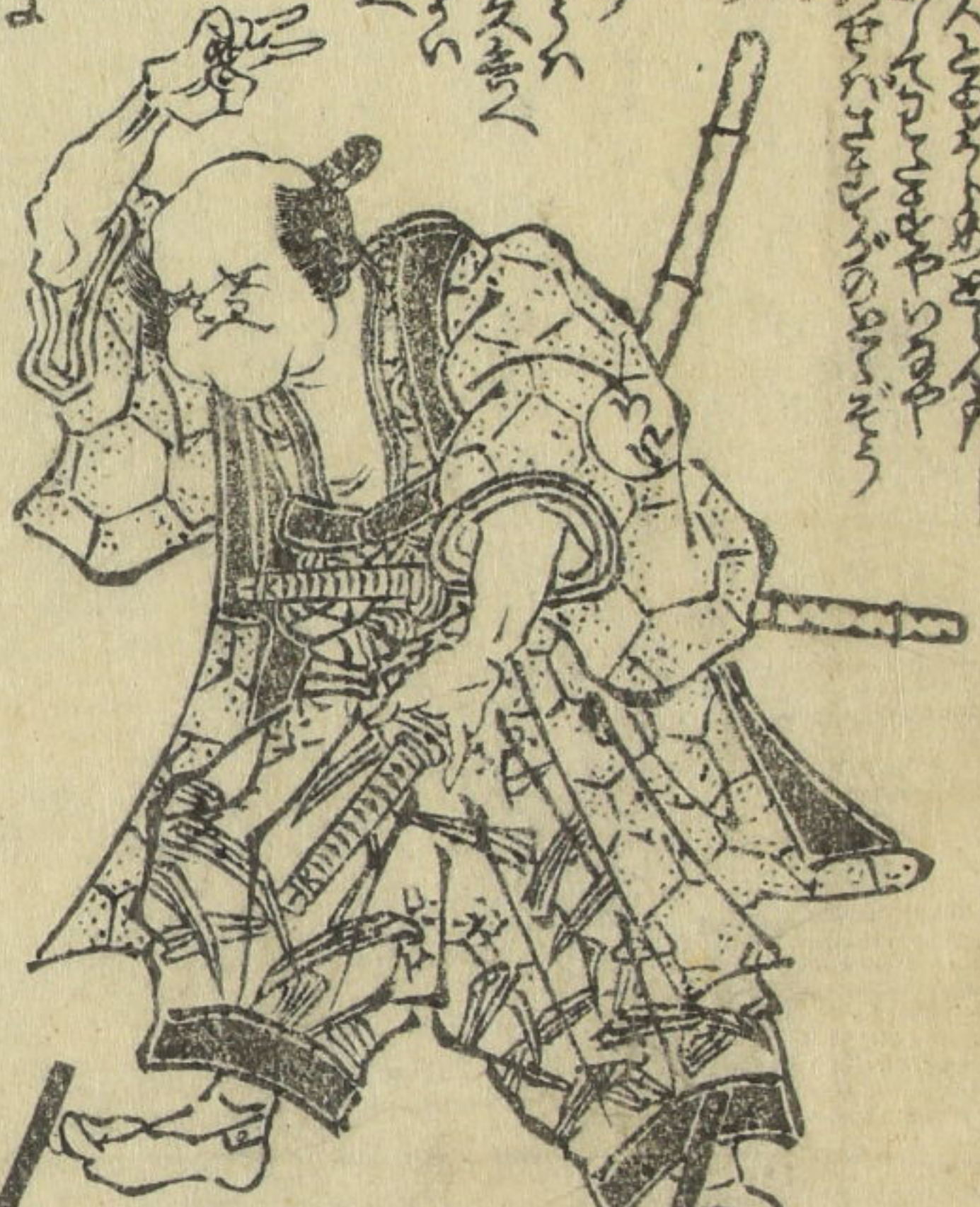
Handwritten Japanese text located below the illustration of the child, likely a caption or further commentary.

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a Japanese text. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving left.



Small handwritten text at the bottom left of the page, possibly a signature or a note.

Handwritten text in a cursive script, continuing the transcription from the previous page. It is arranged in vertical columns on the right side of the page.



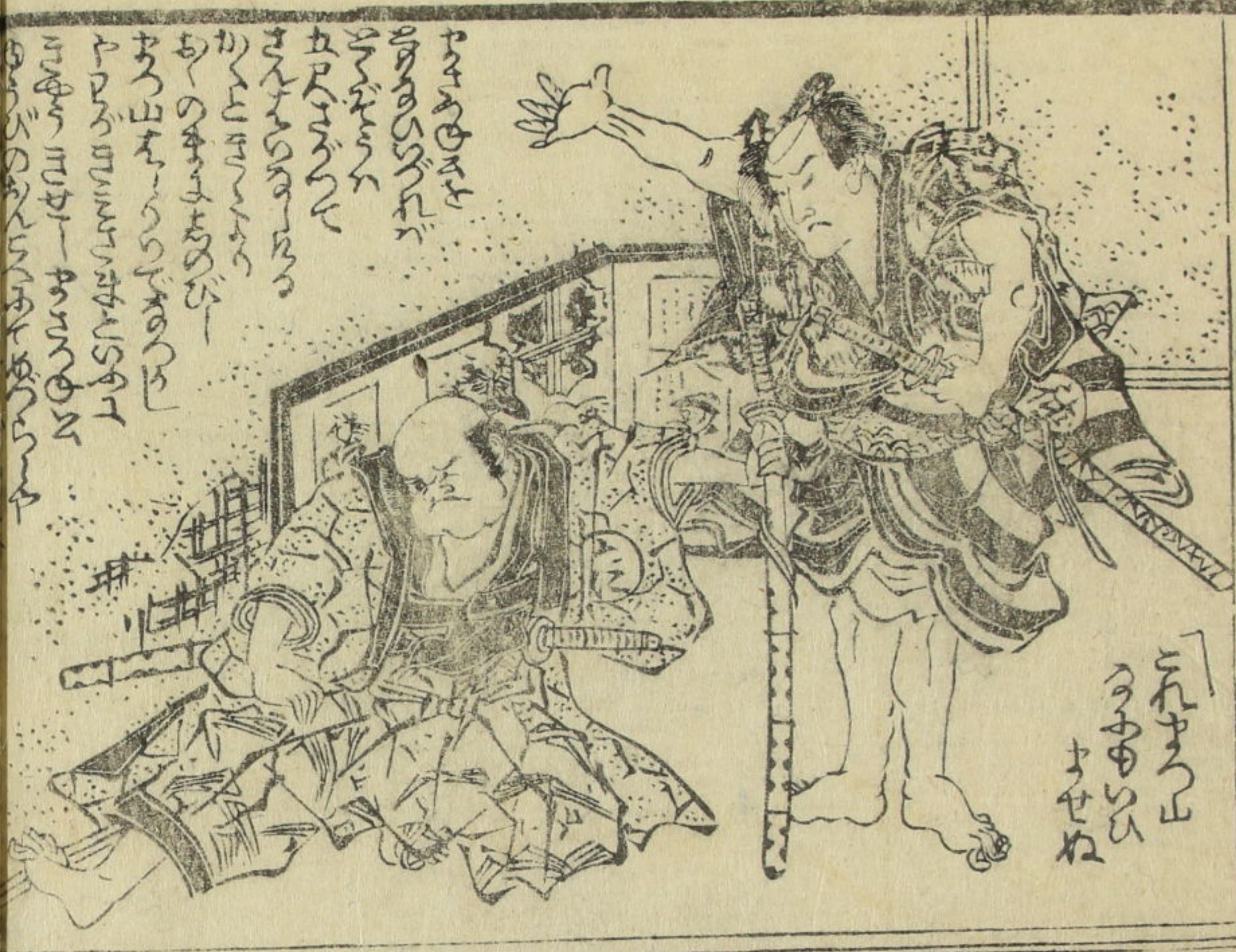
Handwritten text located below the illustration of the man with the staff. It appears to be a short dialogue or a label for the figure.



此の山は
 昔より
 名高く
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり



此の山は
 昔より
 名高く
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり

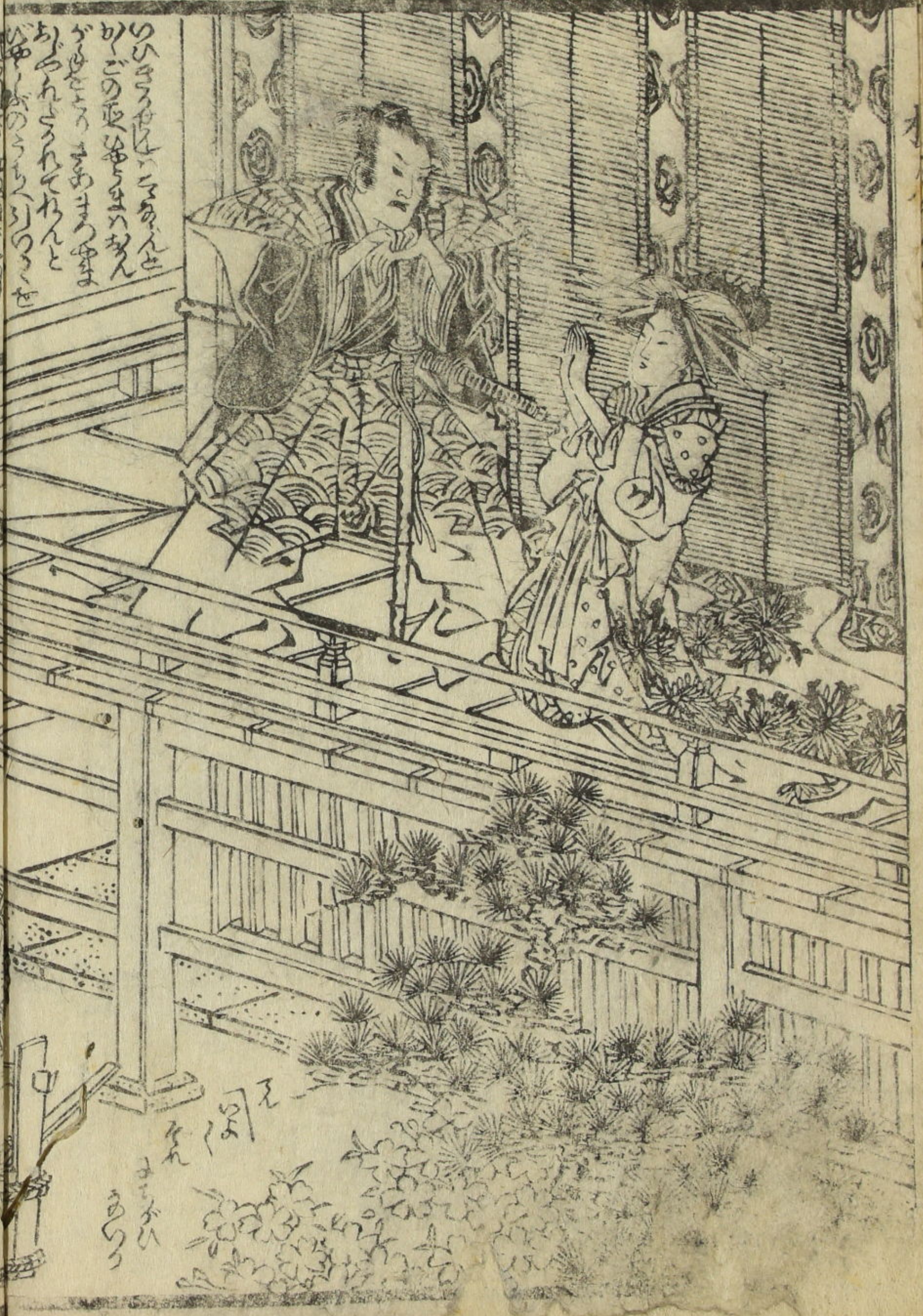


此の山は
 昔より
 名高く
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり

此の山は
 昔より
 名高く
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり

此の山は
 昔より
 名高く
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり

此の山は
 昔より
 名高く
 山頂に
 石塔あり
 昔は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 今も
 僧侶の
 修行の
 所なり

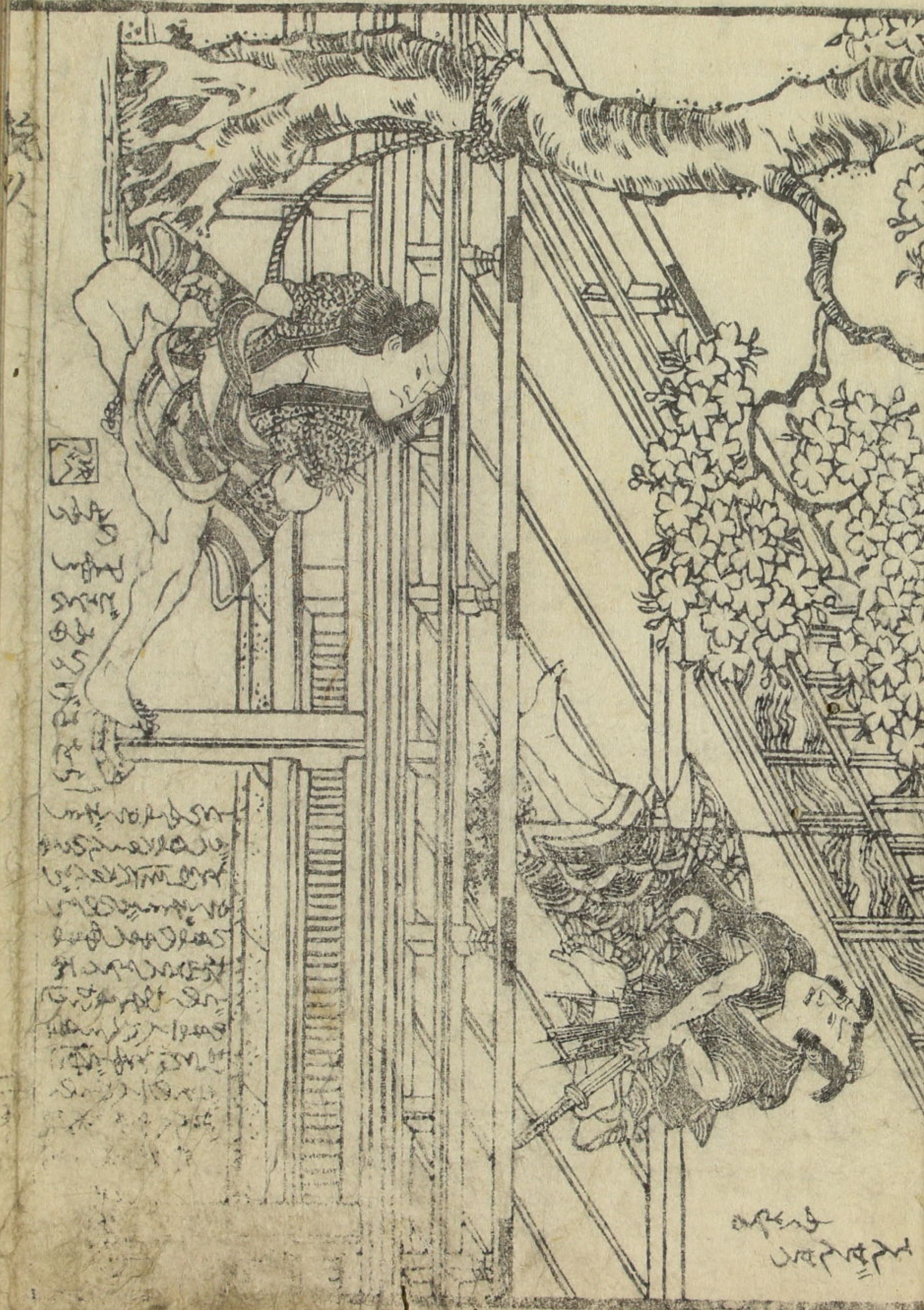


此の物語は
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 多しなり

此の物語は
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 多しなり
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 多しなり
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 多しなり



此の物語は
 昔の事なり
 今も語り
 傳へる事
 多しなり



Handwritten text in vertical columns on the left side of the illustration, likely a title or descriptive text.

Additional handwritten text in vertical columns below the main illustration on the left page.

Handwritten text at the bottom center of the left page, possibly a signature or date.



Large block of handwritten text in vertical columns on the right side of the illustration, likely a title or descriptive text.

Small handwritten text or mark on the right edge of the page.



Handwritten text in a cursive script, oriented vertically along the left side of the drawing. The text is dense and appears to be a list or a set of notes.



Handwritten text in a cursive script, oriented vertically along the top side of the drawing. The text is dense and appears to be a list or a set of notes.

Handwritten text in a cursive script, oriented vertically along the right side of the drawing. The text is dense and appears to be a list or a set of notes.

騎又

まふらつてつんべの
とまひつてつらつら
おしゆうふな
こののらん
ひまわりさまの
ごまの松枝よ
のわらわらうを
えんが政をえん
むんまふめそれ
久きくちあて
おつらあてま
つらてつら山へ
ちごまがせわれ
まふらつてつんべ
ののわらわらうの
まふらつてつんべ
おしゆうふな
ひまわりさまの
ごまの松枝よ
のわらわらうを
えんが政をえん
むんまふめそれ
久きくちあて
おつらあてま
つらてつら山へ
ちごまがせわれ
まふらつてつんべ
ののわらわらうの



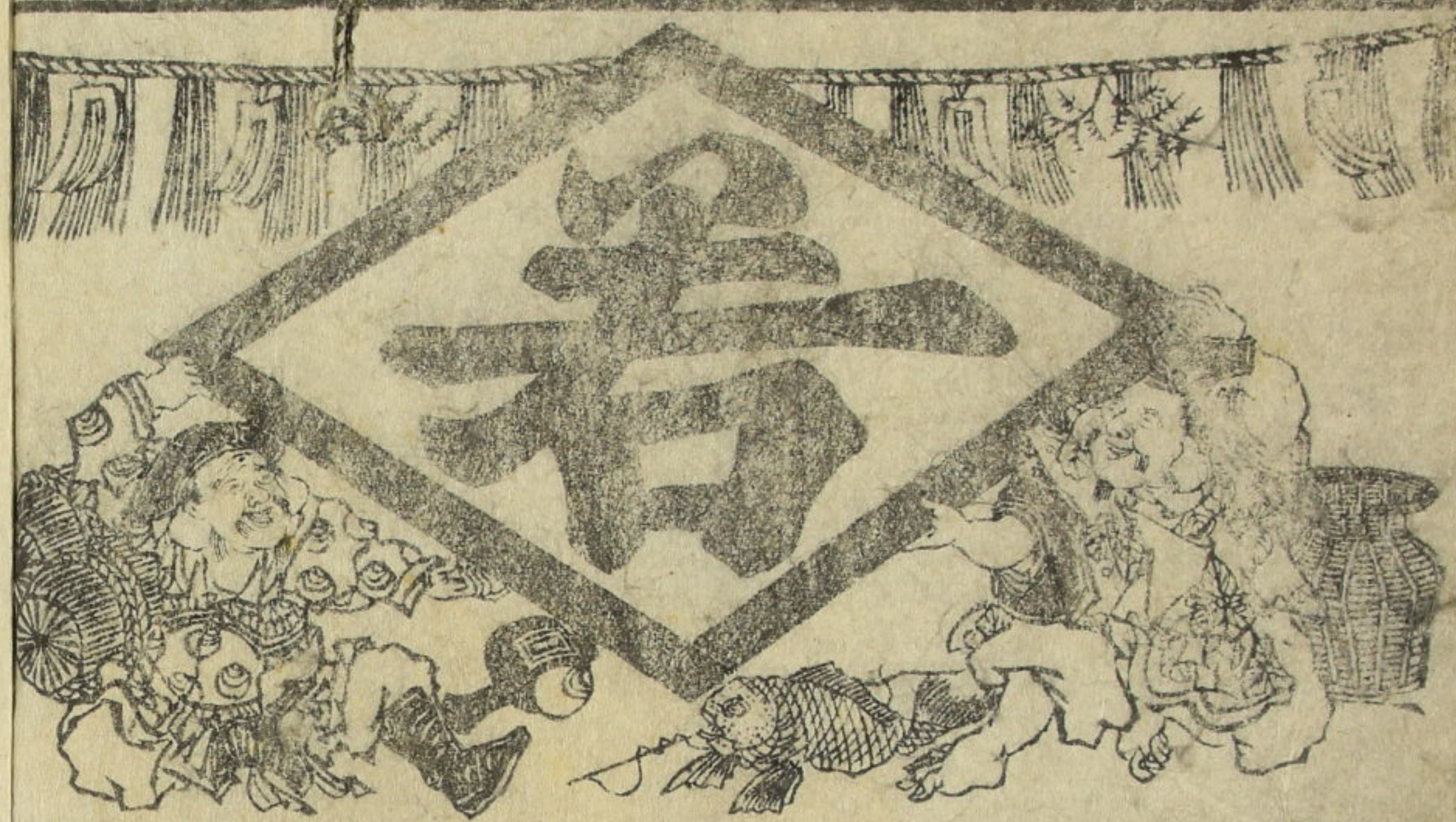
まふらつてつんべの
とまひつてつらつら
おしゆうふな
こののらん
ひまわりさまの
ごまの松枝よ
のわらわらうを
えんが政をえん
むんまふめそれ
久きくちあて
おつらあてま
つらてつら山へ
ちごまがせわれ
まふらつてつんべ
ののわらわらうの

まふらつてつんべの
とまひつてつらつら
おしゆうふな
こののらん
ひまわりさまの
ごまの松枝よ
のわらわらうを
えんが政をえん
むんまふめそれ
久きくちあて
おつらあてま
つらてつら山へ
ちごまがせわれ
まふらつてつんべ
ののわらわらうの

おしゆうふな

まふらつてつんべの
とまひつてつらつら
おしゆうふな
こののらん
ひまわりさまの
ごまの松枝よ
のわらわらうを
えんが政をえん
むんまふめそれ
久きくちあて
おつらあてま
つらてつら山へ
ちごまがせわれ
まふらつてつんべ
ののわらわらうの

はる 龍巻



戲作者東遊林

ちり
の
あ
ひ
の
さ
り
ひ
ま
り
さ
り
さ
り



南北

畫工勝川春扇



